

§5.7 球

2次元座標空間 \mathbf{R}^2 において、点 A 及び 0 以上の実数 r に対して、 $\overline{AP} = r$ である点 P の全体を円といたしました。

3次元座標空間 \mathbf{R}^3 において、点 A 及び 0 以上の実数 r に対して、 $\overline{AP} = r$ である点 P の全体を球と言います。

定義 3次元座標空間 \mathbf{R}^3 の点 A 及び 0 以上の実数 r に対して、 $\overline{AP} = r$ となる点 P の全体

$$\{ P \in \mathbf{R}^3 \mid \overline{OP} = r \}$$

を、点 A を中心とする半径 r の球という。

定理 5.7 a, b, c, r は定数で $r \geq 0$ とする。

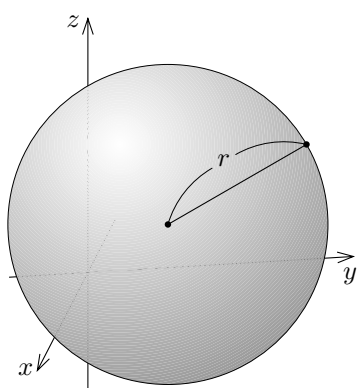
xyz 座標空間において、点 (a, b, c) を中心とする半径が r である球は方程式

$$(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2$$

で表される。逆に、方程式

$$(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2$$

で表される図形は点 (a, b, c) を中心とする半径が r である球である。



証明 3次元座標空間の点 A を $A = (a, b, c)$ とおく。3次元座標空間の点 $P = (x, y, z)$ について、 $\overline{OP} = \sqrt{(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2} \geq 0$ なので、

$$\begin{aligned} \overline{OP} = r &\iff \sqrt{(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2} = r \\ &\iff \sqrt{(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2}^2 = r^2 \\ &\iff (x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2. \end{aligned}$$

実数 a, b, c, r に対して、 xyz 座標空間において点 (a, b, c) を中心とする半径が r である球を S とおく。 xyz 座標空間の各点 $P = (x, y, z)$ について、

$$\begin{aligned} (x, y, z) \in S &\iff P \in S \iff \overline{OP} = r \\ &\iff (x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2. \end{aligned}$$

従って球 S は方程式 $(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2$ で表される。

逆に、実数 a, b, c, r に対して、 xyz 座標空間において方程式 $(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2$ が表す図形を S とおく。座標空間の各点 $P = (x, y, z)$ について

$$\begin{aligned} P \in S &\iff (x, y, z) \in C \iff (x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = r^2 \\ &\iff \overline{OP} = r. \end{aligned}$$

従って図形 S は点 $A = (a, b, c)$ を中心とする半径が r である球である。

(証明終り)

例題 xyz 座標空間において点 $(3, \frac{5}{4}, -6)$ を中心とする半径が 7 である球を表す方程式を求めよ。

点 $(3, \frac{5}{4}, -6)$ が中心であり半径が 7 である球は方程式

$$(x-3)^2 + \left(y - \frac{5}{4}\right)^2 + (y+6)^2 = 49$$

で表される。

終

問題 5.6.1 xy 座標空間において点 $(4, -5, -\frac{7}{6})$ を中心とする半径が 9 である球を表す方程式を求めなさい。

例題 xyz 座標空間において球 S の中心は点 $(3, -5, 7)$ であり点 $(4, -2, 9)$ が S に属すとする。 S を表す方程式を求めよ。

球 S の半径 r は点 $(3, -5, 7)$ と点 $(4, -2, 9)$ との間の距離なので、

$$r^2 = (4-3)^2 + \{-2 - (-5)\}^2 + (9-7)^2 = 1 + 9 + 4 = 14.$$

球 S は方程式 $(x-3)^2 + (y+5)^2 + (z-7)^2 = 14$ で表される。

終

問題 5.6.2 xyz 座標空間において球 S の中心は点 $(-5, -7, 9)$ であり点 $(1, -8, 6)$ が S に属すします。 S を表す方程式を求めなさい。

変数 x と y と z に関する2次方程式は、

$$(x-a)^2 + (y-b)^2 + (z-c)^2 = d \quad (a, b, d \text{ は定数で } d \geq 0)$$

の形に同値変形できれば、定理5.1より、 xy 座標平面において点 (a, b, c) が中心であり半径が \sqrt{d} である球を表します。この形に変形するために2次式の平方完成を用います。

$$x^2 + 2 \cdot \frac{\square}{2} x + \left(\frac{\square}{2}\right)^2 = \left(x + \frac{\square}{2}\right)^2.$$

例題 xyz 座標空間において方程式 $3x^2 + 3y^2 + 3z^2 - 8x + 7y - 5z = -2$ が表す図形は球であることを示し、その中心と半径とを求めよ。

【解説】 まず方程式 $3x^2 + 3y^2 + 3z^2 - 8x + 7y - 5z = -2$ の両辺を x^2 及び y^2 及び z^2 の係数の 3 で割る；

$$\begin{aligned} x^2 + y^2 + z^2 - \frac{8}{3}x + \frac{7}{3}y - \frac{5}{3}z &= -\frac{2}{3}, \\ x^2 - \frac{8}{3}x + y^2 + \frac{7}{3}y + z^2 - \frac{5}{3}z &= -\frac{2}{3}. \end{aligned}$$

x の係数 $-\frac{8}{3} = -2 \cdot \frac{4}{3}$ の絶対値の $\frac{1}{2}$ の2乗 $\left(\frac{4}{3}\right)^2$ と y の係数 $\frac{7}{3} = 2 \cdot \frac{7}{6}$ の絶対値の $\frac{1}{2}$ の2乗 $\left(\frac{7}{6}\right)^2$ と z の係数 $-\frac{5}{3} = -2 \cdot \frac{5}{6}$ の絶対値の $\frac{1}{2}$ の2乗 $\left(\frac{5}{6}\right)^2$ とを両辺に足す：

$$\begin{aligned} x^2 - 2 \cdot \frac{4}{3}x + \left(\frac{4}{3}\right)^2 + y^2 + 2 \cdot \frac{7}{6}y + \left(\frac{7}{6}\right)^2 + z^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}z + \left(\frac{5}{6}\right)^2 &= -\frac{2}{3} + \frac{16}{9} + \frac{49}{36} + \frac{25}{36}, \\ \left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \left(y + \frac{7}{6}\right)^2 + \left(z - \frac{5}{6}\right)^2 &= \frac{11}{6}. \end{aligned}$$

これらの変形は同値変形である：

$$3x^2 + 3y^2 + 3z^2 - 8x + 7y - 5z = -2 \iff \left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \left(y + \frac{7}{6}\right)^2 + \left(z - \frac{5}{6}\right)^2 = \frac{11}{6}.$$

方程式 $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \left(y + \frac{7}{6}\right)^2 + \left(z - \frac{5}{6}\right)^2 = \frac{11}{6}$ が表す図形は点 $(\frac{4}{3}, -\frac{7}{6}, \frac{5}{6})$ を中心とする半径 $\sqrt{\frac{11}{6}}$ の円である。故に、方程式 $3x^2 + 3y^2 + 3z^2 - 8x + 7y - 5z = -2$ が表す図形は円であり、その中心は $(\frac{4}{3}, -\frac{7}{6}, \frac{5}{6})$ であり半径は $\sqrt{\frac{11}{6}}$ である。

終

問題 5.7.3 xyz 座標空間において方程式 $5x^2 + 5y^2 + 5z^2 - 7x + 8y + 3z = -4$ が表す図形は球であることを示し、その中心と半径とを求めなさい。